

働き方改革を進める 「業務仕組み化」事例紹介セミナー

参加費無料

本セミナーの主旨・特色

仕組みを作ることで、業務のバラツキが減り、属人性の業務やムダが削減され効率向上につながります。本セミナーでは「業務基準書」を作成している企業の取組み事例を紹介し、「業務仕組み化」「標準化」の担当者様の悩みとその解決方法を共有いたします。

対象

- ・「業務仕組み化」への取組みを検討されている方
- ・基準書又はマニュアルが既にある、その活用を推進する組織の担当者の方
※意見交換時に自社の取組みを簡単に紹介いただきます。

お悩みの例

- ・基準書完成まで何ヶ月かかるのだろう
 - ・基準書とマニュアルの違いは何？
- など

メリット

- ・企業の実例から、「業務仕組み化」に取組んだ際に直面した壁や乗り越え方についてヒントを学ぶことができます。
- ・同じ課題・悩みを持った各企業の担当者様同士での意見情報交換ができます。

日時 2017年11月2日(木) 13:30-16:00

会場 日本生産性本部 生産性ビル (東京・渋谷駅 東口)

講師



鍛冶田 良 (公財)日本生産性本部 コンサルティング部 主任経営コンサルタント

製造業の改善、管理手法をサービス産業のオペレーション改善に活かし、サービス産業の生産性向上の支援を行っている。「業務仕組み化」では薬局・ドラッグストア・通信販売会社などを支援している。



(株)レナウン 総務部業務統括課 より3名登壇予定

アパレル製品および雑貨の企画・製造・販売会社。
現在、自社で間接部門を中心に仕組み化・標準化に取り組み中。

仕組み化とは

仕組み化とは、「現時点において、誰が、いつ、何度やっても、同じ成果を生むシステム」です。「見える化」「標準化」「改善の仕組み化」に着目し、当協議会ではサービス小売業のベストプラクティスである良品計画の業務基準書(MUJIGRAM)をモデルにした仕組み化のためのツールを開発しました。

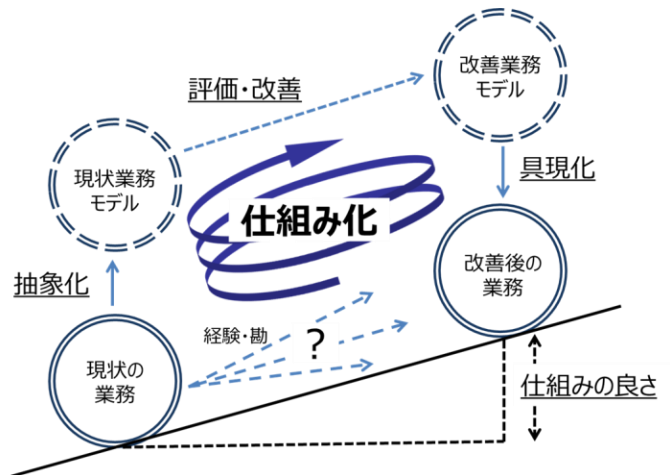
○仕組み化の効果には次の効果があります。

短期的効果

- ①業務効率化 ②再現性の実現
③属人化の排除 ④異質性の排除

長期的効果

- ①改善の風土化 ②教育の均質化
③理念の統一 ④知恵・ノウハウの共有



プログラム (予定)

13:30 開会

- ・企業の生き残りは「働き方改革」
- ・「業務仕組み化」とは
- ・業務仕組み化の事例紹介

— 現在、仕組み化に取り組む企業事例 2～3件を紹介します

15:00 企業 実例の紹介
(株)レナウン

— 取組みのキッカケ、課題、今後の目標
(間接部門を中心とした仕組み化・標準化)

15:30 意見交換

— 質問、意見・情報の交換

16:00 閉会

申し込み方法

下記順序にて、webお申込みフォームより、ご登録をお願いします。

1、SPRING ホームページへアクセス。

<http://www.service-js.jp>

サービス 生産性

検索

2、下図のバナーをクリックし、リンク先よりお申込み下さい。

業務仕組み化
事例紹介セミナー
2017
11/2

- ・10月26日(木)まで、お申込み可能です。
 - ・上記URLからご登録頂いた方に、開催の約一週間前を目処に「参加案内」を送付いたします。
- ※本セミナーへのご参加は、原則としてwebでの事前登録(申し込み)が必要です。

募集人数

20名

※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。同業者のお申込はご遠慮下さい。

お問い合わせ

公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会 事務局担当: 吉田・浦部・加藤
<http://www.service-js.jp> 検索サイトで「サービス 生産性」を検索ください。
 E-mail: service-js@jpc-net.jp